

常任委員会での 審査

11月定例会では、議案15件が各常任委員会で審査しました。議案審査における主な質疑答弁は次のとおりです。

総務市民委員会

●富士市での生活がイメージできるPR動画とは

委員 若者応援環境づくり推進事業費を323万円余増額する中で、移住・定住PR動画を制作することですが、どのような内容ですか。
当局 移住・定住を検討している方は、実際の暮らしぶりをイメージできるものを求めていることから、幾つかのシチュエーションで1分30秒ほどにまとめた動画を制作する予定です。また、動画は今年度中に、市ウェブサイトやYouTube等で配信したいと考えています。

●トイレトレーラーの活用方法は

委員 備蓄資機材整備事業費を1377万円余増額し、ト

イレトレーラーを購入することですが、年間の維持費はどれくらいかかりますか。また、災害時以外はどのように活用しますか。

当局 車検や修理代として30万円程度かかるほか、汚物の処分費用がかかります。また、富士まつりなどの市主催イベントの際にトレーラーを利用していただき、災害時のトイレ問題の周知、啓発に活用したいと考えています。



災害時のトイレを確保するトイレトレーラー（移動設置型トイレ）

文教民生委員会

●小中学校校舎の壁面打診調査及び補修の内容は

委員 小中学校校舎の壁面打診調査や補修を行うとのことですが、どのように作業を進めますか。

当局 あらかじめ建築技師職員による目視調査を行ってお

り、平成以降に建設された学校や補修済みの学校を除き、高所など目視で判断できない部分は打診調査を行います。これらの調査の結果、補修の必要性が判明した場合には補修を行います。

●AEDを正しく使用できる市民をふやすためには

委員 市内全ての小中学校の体育館にAEDを配備し、市内への普及が進む一方、正しくAEDを使用できる市民が

環境経済委員会

●松くい虫被害木への対応は

委員 調査で把握した松くい虫被害木の伐倒破碎を行うとのことですが、拡大する松くい虫被害への対策をどのように講じますか。

当局 調査後に判明した被害木にもできる限り対応したいと考えており、県森林・林業研究センターの助言を得ながら対応していきます。

●新富士駅都市施設の充実を

委員 これまでと同じ指定管理者が、指定管理者候補者として選定されましたが、新たな提案等はありませんか。

当局 やすらぎの広場の有効な活用やビジネスコーナーの検討などの提案があり、審査の際にも高い評価につながっ

どれぐらいいるかが懸念されます。使用方法を習得するためにどのような対応を考えていますか。

当局 AEDの使用方法を習得できる普通救命講習の受講者数をふやすことが対策の1つと考えます。そのため、AEDの貸し出し申請を受けた際に申請者へ受講を勧めるほか、各小中学校の学校施設利用委員会の場で受講を呼びかけたいと考えています。

●産業交流展示場運営の

委員 今回、指定管理者候補者に選定された事業者は、施設設置当初から指定管理を行ってききましたが、これまでの実績をどう評価しますか。

当局 安定した収支実績や、他事業者のイベント等を活用するなどの意欲的な取り組みも見られ、これまで良好な運営を行ってきたと考えています。

建設水道委員会

●中央公園多目的広場の改修内容は

委員 公園等修繕費を480万円増額し、中央公園多目的広場を改修することですが、どのような内容ですか。

当局 中央公園駐車場に軽飲

食店が出店することに伴い駐車場が約25台分減少することから、駐車場北側に位置する多目的広場の改修を行うものです。現状で約100台駐車できるものを、田子浦伝法線沿いにある公園植栽の一部を駐車場にすることで、普通自動車と軽自動車合わせて122台分の駐車スペースが確保できる予定です。また、通常時は多目的広場として使用することに配慮し、駐車場の区画線は緑色で引く予定です。



改修する多目的広場

●若者世帯まちなか居住支援奨励金を減額する理由は

委員 若者世帯まちなか居住支援奨励金300万円の減額はどのような理由ですか。

当局 1件当たりの交付額を70万円と見込んでいましたが、申請者のうち市内業者により新築した方が少なかったことから、1件当たりの平均交付額が57万円余となり、当初の見込み額を下回ったためです。